

3月議会 平成25年度予算案など審議

不正をただし、町民のくらし・生業まもる町政へ

町民のくらし・生業などに深くかかわる平成25年度の予算案が発表され、3月議会が6日に開会されます。主な日程は裏面を参照してください。

近く本格オープンを迎える道の駅・「せせらぎの里こうら」の経営主体をめぐって第三セクターでの計画断念などの曲折の末、町の直営になることが決まり、さまざまな波紋を広げています。その反映もあり、幾人もの議員が道の駅をテーマに取り上げるようです。

丸山光雄、西澤両議員の一般質問概要を紹介します。

丸山光雄議員の質問

、盗水問題の全面的な解決のために

町民みんなの大切な水道水を盗んだ上に、「町民の代表」たる議員を続けていることに、静かながら怒りが広がっています。

1、山田議員の盗水事件の進みぐあいについて、刑事責任および損害金の賠償を含む民事上・行政上の責任はどのようになっているか。

2、盗水パイプ管の設置にかかわったとされる業者の証言による他の数十件の調査をこの間すすめたのか。その結果はどうだったのか。

3、その場合、どんな職員配置体制でのぞんだのか。委託業者任せになってはいないか。

4、「甲良町では、いわゆる盗水問題、不正取水問題は完全に解決した」と宣言できる状況になったのか。そのような宣言ができないとしたら、どのような対策を立てているのか。

、身近なゴミ問題を住民と行政がともに取り組んでゆくために

1、「広域」での計画そのものは住民からすれば、大変遠い存在に感じる。「施設をつくる」という観点からだけではなく、「ゴミ問題にどのように向き合い、どのようにして解決してゆくか」という行政のリーダーシップと住民と共に考えるという過程プロセスを大事にする必要があるのではないか。

2、「一般廃棄物処理広域化計画」を1市4町で取り組む中

で、「処理施設」の建設予定地が次々と行き詰っていると聞いているが、その根本的な原因は何と考えているか。「広域処理」と「住民合意を尊重しない行政姿勢」が一つの原因ではないか。

3、今回、建設予定候補地の地元住民の「建設反対」との意思が明確にされたと聞いているが、この際「広域化計画」を白紙にもどし、甲良町行政と住民がゴミ問題をじっくりと考える機会にすべきではないか。

4、町民の願いにこたえ、信頼関係をつくる上でも、燃えるゴミの周回収集を実施すべきではないか。

西澤議員の質問

、TPP（環太平洋連携協定）について

安倍晋三首相が28日オバマ大統領と会談し、TPP交渉参加に大きく踏み出した事態を受けて次の事項を質問。

1、TPPに参加すれば、

【裏面に続く】

各議員の一般質問

一般質問は9議員が通告書を提出。26日の議会運営委員会で、日程と質問順序が以下のように確認されました。

6日（水）9時開会。議案提出などの後、阪東、濱野、野瀬、西川の各議員の順。

7日（木）9時開会。藤堂、丸山光雄、山田、金澤、西澤の各議員の順。丸山光雄議員は午前中、西澤議員は午後になる予定。どうぞ傍聴にお越しく下さい。



甲良民報

2013年3月3日 544号

発行責任：日本共産党甲良町議員団

連絡：甲良町在土463（西澤）

Tel. Fax38-4949

みなさんのお声・願いをお待ちしています くらし・医療・税金・教育などの相談は **西澤伸明** 38-4949 **丸山光雄** 38-3123

日本共産党甲良町支部の見解を紹介します。メール siga-koura463@jcp-nobuaki.com ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

甲良町の米、麦、大豆、野菜などの生産がどれだけ減少すると想定しているか。

2、農林産業および関連産業の雇用者数はどれだけ減少すると想定しているか。

3、農林産業および関連産業以外でもどのような影響が出ると想定しているか。

4、田園風景、農地環境も含め、甲良町では町民の営業とくらしにどのような影響が現れると想定しているか。

5、オバマ大統領と会談した安倍首相がG20交渉参加に踏み出した姿勢は容認できないとの態度表明を改めてすべきではないか。

生活保護基準の切り下げについて

1、生活保護基準の切り下げは町民にどのような影響をおよぼすのか。

2、生活保護と連動する諸制度はどのようなもので、その影響を受ける町民の人数は。

3、その内、就学援助制度がどのような影響を受けるか。

4、町独自でも就学援助制度の現行水準を維持すべきだが。

直売所・せせらぎの里について

1、町「直営」の方針のもとで、生産者を育成し、農業生産の基礎的な力を高

めるためにどのような施策を充実させ、生産者との信頼関係をどのように築いていくのか。

2、現状は大変厳しい中「成功」への軌道に乗せるため、以前から提起している4つの柱（出荷体制を支える農業支援の強化。ハコモノ建設優先の事業を根本から切りかえ、住民の命と健康・福祉を充実すること。利

権・不正は許さない毅然とした行政姿勢を貫くこと。町民の結束を弱める地域間の格差をつくる同和特別施策を終了・卒業すること。当時は「直売所の成功の4本柱」を提起）の具体化・実践が重要なのではないか。

3、「道の駅」経営という経済活動と農業振興など町民全体の利益優先という課題とは混同させてはならず、経営体の法人化は独立会計を保ち、経営責任を明確にする上で避けて通れないのでは。

同和対策事業の公正な後始末について

1、同和事業による宅造地の分譲を受けた住宅地の沈下・陥没の事例が発生したが、埋め立て工事の根本的な欠陥が指摘され疑惑を持たれている。解決に向けて誠意ある対応が求められているのでは。

燃えるゴミ処理の広域化 焼却施設建設計画

獅山市長「三津町、海瀬町を断念」と言明

彦根市、犬上3町、愛荘町で進めるゴミ処理広域化計画は昨年5月、彦根市の三津町、海瀬町に施設建設の第一候補地として説明会など取り組んできました。しかし、「候補地」と判明してから地元住民だけではなく周辺住民からも不安の声が起り、両地区とも総会において候補地返上を圧倒的多数で決議されました。

このような事態を受け、獅山彦根市長は26日開催された広域行政組合の定例議会で、「三津・海瀬町を候補地として位置づけるのは極めて困難であり、今後話をすすめるのはやめた。断念した」と表明しました。

同議会で西澤議員は一般質問に立ち、石寺地先と今回、2つとも施設建設候補地が行き詰まる事態のもとで、「ゴミ処理の広域化」そのものに無理があり、「広域化計画」の根本的な見直しを求めました。

お元気ですか

旧豊郷小学校で開かれていた「うたごえ喫茶・あおぞら」での出会いが楽しくなってきました。進行が実にほほえましく、あつたかくなるのです。リクエスト曲を読み上げ、その曲にまつわるエピソードが紹介され、時には司会者の感想が入る、ちよつとしたズッコケには、ドツと笑いがこぼれるのです。テーブルごとの発表も参加者間の交流をうながす一場面に。チームの名前と発表する曲を相談させるのです。アコーディオンは生演奏。趣旨に賛同したサンシン奏者の若者グループも加わり、スタッフの心意気が伝わるよう。先般、中日新聞が取り上げるまで広がったようです。ストレス解消が何よりものクスリでは？



3月議会の主な日程

平成25年度予算を主な議題とする3月議会が下記の予定で始まります。26日の議会運営委員会で確認されました。

- 5日(火) 全員協議会(議案説明など)
- 6日(水) 開会(議案提案・一般質問など)
- 7日(木) 一般質問
- 11日(月) 予算決算常任委員会
- 12日(火) 予算決算常任委員会
- 13日(水) 予備日
- 14日(木) 予備日
- 21日(木) 閉会(議案の討論・採決など)

本会議・一般質問はどなたも傍聴できます